

第十号

# 風知草



《発行》新津西部コミュニティ推進協議会

《発行日》平成25年 2月 1日

## 我がまち風景

夕映えの跨線橋からの夕焼け (平成24年秋)

### つれづれ

毎年、師走が近づくと義弟から「リンゴが一箱」届く。すると家内から「アップルパイを焼いて」と要請される。

十五年前、東京の会社を定年退職、郷里の新津にもどった時、市主催の「男の料理教室」が行われていたので参加した。月一回、男ばかり二十人前後が、講師用意の「材料」で、レシピを見ながら「主菜」と「デザート」を作っていく。約二時間でレシピの写真と程遠いのも出来上がるが、試食して散会。残念な事に講師の高齢で、数年で教室は休校。しかし、レシピは残っている。

夕食後、①リンゴ三個の皮をむき、四つ割にして三ミリの厚さに切り、二百グラムの砂糖を加えて煮る。火を止める前に「シナモン」「バター十グラム」「一個分のレモン汁」を加える。②パイ生地は「調理学園」の売店から購入の「冷凍」。好きなききに解凍して伸ばし、リンゴをたっぷり包み込み、オーブンで焼く。味は、アップルパイに目の無い知人が「今迄に一番旨かった」と褒める程である。

(J・K)

シリーズ②

# 西部地区公園紹介

## — 美幸町公園 —



近年、少子高齢化が進展し子どもや、家族を取り巻く地域社会が大きく変容してきています。家族の人数も減り、地域では一緒に遊ぶ仲間も少ない等、集団の中で子どもが育っていった環境が、失われつつあるのが現状です。その様な中で町内のことも達が集う場として「公園」の重要性が増してきています。

今回紹介する「美幸町公園」は、遊具とゲートボールコーナーが一体となっていました。あいにく訪れたのが晩秋で天気の悪いことも重なり、子どもの遊ぶ姿は見る事が出来ませんでした。公園周辺の方に伺ったところ、近くに幼稚園があり、帰り道などに親子で遊んでいくので「時間帯により、元気な声が聞こえてきますよ、それよりも、ゲートボールコーナーがよく使われています」とのことでした。これからは、幼児からお年寄りまで幅広い年齢の人達が利用する多目的な公園が益々必要になると思いました。その様な事を思いながら、近くの町内を廻ってみますと、公園の大小に関わらず、設置箇所が意外に多い事が分かりました。また、他の地区の方からの情報で「荻川のおおば公園」に

は、特に祝日は多くの親子（特に父親）が遊びに来ているといふ話をきき、見てきました。広々とした敷地に、緑の丘がつくられ遊具も適切に配置されていて、素敵な場所でした。この様な新しい公園はすでに、多目的につくられているのだとあらためて感じました。

(I・F)





### 新津三小ドラゴン ファイターズの応援 宜しく願います!

保護者代表 植村 晋也

私が第三小学校のグラウンドで白球を追いかけた頃は各町内に少年野球チームがありました。しかし、近年の少子化により、五年前に三チームが合併し、「新津三小ドラゴンファイターズ」が発足しました。各町内から毎年寄付金を戴き、グラウンド施設の充実により、子供達もより一層練習に励む事ができ、昨年は三度優勝する事が出来ました。秋葉区の一斉清掃、小学校の勤労奉仕等はチームで参加しております。五月には福島県へ合宿をおこない、チームワークの向上を図っております。九月には地域対抗野球大会を開催し、野球部員以外にも参加を集い、野球の楽しさ、仲間で優勝めざして頑張る充実感を感じてもらい、野球の底辺の拡大を図っております。

お近くに野球に興味のあるお子様はいませんか。一緒に野球を楽しみましょう。

## み～んな～集まれ～!

西部地区では、いろいろなサークルや団体が活動しています。シリーズ6回目は、古田地域です。

### 民謡踊りで地域交流

岡 トミ

古田地域の女性部に何か楽しくて元気の出る物はないかと思っていた所に、民謡踊りを教えてくれる方の話が有り、始めることに致しました。早速グループを作り、毎日町内会館で、のびのびと元気にやっております。大変良い運動になると皆さんに喜ばれております。レパートリーとしては、新津松坂・四季の新津・十日町小唄などを色々講習を受けております。

あなたも仲間になって楽しく

### 「アケ国語で話そう!!」 ヒップファミリークラブ

宮腰由紀子

はじめまして。私は古田町内会館をお借りして、毎週火曜日夜七時～九時に、ヒップファミリークラブ

を主催しております。

私達はテキスト等を使って「学ぶ」のではなく、「学ぶの語源」まねる」事をします。赤



やってみませんか。終わった後はお茶会やお喋りを楽しんでおります。八月の古田祭りの日は町内の人達と松坂踊りを楽しんでおります。又、町内のPTAの運動会にも松坂踊りで参加致しました。三世代交流と云うことで、大変盛り上がりました。



ちゃんが、周りで話されている家族の言葉をまねながら話せる様になっていくプロセスを取り入れていきます。

大人も子供も一緒に多言語のCDを聞き、まね、多言語を使ってゲームをし、車座になって話をします。

そして、新大の留学生他ホームステイで受け入れ、とにかく相手の言葉で話します。すると緊張していた顔が一気に笑顔へと変わり、家族の一員に。彼らとの出逢いから世界が見え、私の心と言葉が豊かになります。そして彼らとの絆は私の宝物です。

# 町内会とコミュニティづくり

さつき野二・三丁目 町内会長 江口 正樹

さつき野二・三丁目は、平成十三年に宅地開発され、それから十年を経過した現在は世帯数約三〇〇を有する町内です。当初は「町内会」がありませんでしたので、当然、防犯灯もなければ、ゴミ出しのルールもない、そもそも町内のルールがない状態でしたが、何とか「町内会」を立ち上げ、まずは町内におけるルールづくりと環境の整備を行ってきました。

さつき野二・三丁目に住んでいる方の多くは秋葉区以外から転居してきた方や若い方

で、ライフスタイルも昔と違うため、町内会の活動はもっぱら休日を中心であり、「コミュニティ」を目的とした活動も限定されたものとなっています。主な活動は、春・秋の公園等の草取り、花の苗植え、運動会などです。毎回、どの活動も一五〇名を超える町内の方から参加をいただき、本当に感謝しております。

今後も、隣近所が共に助け合い、安心・安全に暮らせる町内にするため、コミュニティを意識した町内活動を続けていきたいと考えています。



## 編集 後記

## バトンタッチ No.9



日頃の出来事や思うこと等を紹介しながら、地域の皆様の“つながりの輪”をひろげていくコーナーです。

細く、長く、ちよつとずつ

美幸町一丁目 佐藤 英子

加茂で生まれて村上で育った私が、新津に移り住んだのが十九年前。

当時長男は幼稚園の年長さん、初めての場所で大丈夫だろうか：と心配したのは私だけで、子どもは入園二日目は新しい友達らと遊びに行っていました。そんな子ども達と同様に、親の私も幼稚園のお母さん達に支えられ新しい場所での生活に馴染むのに時間はかかりませんでした。

それから数年、人に支えられる事に図々しく乗っかり、子育て

てサークルに始まり学校PTAまで存分に楽しみ、今は親が楽しむために活動を続け仲間を増やしています。

「細く、長く、ちよつとずつ」これからもいろいろな所へ顔を出し、たくさんの人と出会う事が私の楽しみのひとつです。そんな事を思いながら最近新しい事を始めてみました。なかなか大変な事もありますか、貴重な体験をしています。そして、そこでの出会いもまた楽しかったです。

次号は 山谷一丁目 鈴木利樹さんへバトンタッチします。

私の日課は朝の愛犬の散歩からです。秋も深まり朝の空気が肌寒く感じるころ、いつもの時間に、いつもの道を歩いていた時のことです。一人

ました。すると彼女も元氣よく返事をしてくれ、言葉を交わす事ができました。心が温まる思いでした。

の若い女性が歩いて来ましたが、目が合ったので「おはよう！」とおもわず、声をかけそうになりました。それから数日後、また同じ所でその女性と出会うことに…。ニコニコと微笑んでいたのが今度は、「おはようございます」と挨拶を

毎日顔を合わせても挨拶が出来ずにいる人もいるのに、彼女の様に初対面でも笑顔で挨拶をしてけると、朝から一日が快活になれるものだと思います。挨拶は大切な事だと改めて感じた朝の散歩でした。

新津西部コミュニティ推進協議会の活動は新潟市からの補助金を受けています。

連絡先・事務局(山谷町二丁目 二一五 斎藤 靖) ☎〇二五〇一三二四一九八